

基本計画の位置づけ

みやぎ食と農の県民条例基本計画に基づく
農業農村整備部門の実施計画。

農業・農村の振興に係る今後の推進方向と、
目標を達成するための方策を明らかにし、**農業農村整備推進の指針**とします。

計画期間は10年間（令和3年度～令和12年度）

<これまでの策定経緯>

第1期基本計画策定	(H14.4)
〃 〃 中間見直し	(H18.4)
第2期基本計画策定	(H23.3)
〃 〃 中間見直し	(H29.2)
第3期基本計画	【今回】

農業農村を取り巻く情勢

- ✓ 農業者の減少・高齢化の進行
- ✓ スマート農業技術の進展・実用化の流れ
- ✓ 老朽化が進行する農業水利施設
- ✓ 頻発化・激甚化する自然災害
- ✓ 田園回帰に対する意識の高まり

農業・農村の将来像

[みやぎ食と農の県民条例基本計画より]

<農業の将来像>

全国トップクラスの大区画水田整備率や園芸栽培に適した気候や立地条件を活かし、アグリテックによる労働生産性の高い水田農業や畜産経営を展開するとともに、食品産業と連携しながら園芸の生産を拡大します。これにより、みやぎの農業を地域経済を支える産業として発展させます。

<農村の将来像>

都市と農村の距離が近く、美しい風土や地域資源が豊富にある強みを活かし、郷土愛のある地域人材が外部人材との協働により、多彩な“なりわい”を創出します。また、農村において人口減少や高齢化に対応しながら魅力ある地域を維持していくため、デジタルトランスフォーメーションの推進や防災機能を強化します。これにより、関係人口や移住者には選ばれる持続可能な農村を実現します。

農業・農村の振興に関する施策の推進方向

「**強靱な農業・農村**」を土台として、「**儲ける農業**」の実現と「**活力ある農村**」の形成を目指し、**3つの基本項目に沿って7つの施策を推進。**

また、基本項目毎に「**重点推進プロジェクト**」を設定し、今後5年間において優先的かつ重点的に取り組む。

基本項目Ⅰ（儲ける農業）

【人口減少下で持続的に発展する農業の振興】

- 施策1 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化**
- アグリテックの推進に向けた基盤整備
 - 時代のニーズに対応した農業技術の確立と現地普及
- 施策2 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化**
- 農業の成長産業化に向けた農業基盤整備
 - 中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保
 - 担い手への農地集積・集約化の推進
 - 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(農業用水の安定供給)

施策3 先進的大規模拠点核とした園芸産地の確立

- 大規模露地園芸の振興
- 農地整備事業を契機とした施設園芸用地の創出

重点推進プロジェクト① 収益力向上に向けた基盤整備

◆ **農地の大区画化のほか、高収益作物導入に向けた水田の汎用化を推進**します。

<大区画及び汎用化水田整備面積>

35,397ha(R1)	→	39,300ha(R12)	※大区画
78,787ha(R1)	→	83,100ha(R12)	※汎用化

<野菜等の高収益作物を導入する新規地区数>

4地区(R1)	→	60地区(R12)
---------	---	------------------

基本項目Ⅱ（活力ある農村）

【多様な主体が活躍できる農村の構築】

- 施策4 関係人口と共に創る活力ある農村**
- 農村を支える人材育成と体制整備
 - 交流拡大による関係人口の創出
 - 農村におけるデジタルトランスフォーメーションの推進
- 施策5 地域資源を活用した多様ななりわいの創出**
- 地域資源の掘り起こしと磨き上げ
 - 地域運営組織等による地域資源を活用したなりわいの創出
 - 「地消地産」による地域経済循環の構築
- 施策6 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり**
- 農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮
 - 土地改良区の体制強化
 - 野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大

重点推進プロジェクト② 地域と関わりを持つ関係人口の創出

◆ **農山漁村交流拡大プラットフォームにより、ビジネスを展開したい農林漁業者や団体、さらに県内外の企業や個人とのネットワークを構築し、新たな関係人口を創出**します。

<農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数>

- (R1)	→	80団体(R12)
--------	---	------------------

基本項目Ⅲ（強靱な農業・農村）

【自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化】

- 施策7 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化**
- 農村の防災機能の充実
 - 田んぼダム等農村地域の有する洪水調節機能の効果的な発揮
 - 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(排水機能の維持・保全)
 - 農村地域の生活環境の維持

重点推進プロジェクト③ 農村の暮らしを守る防災・減災対策

◆ **農村地域の安全・安心な暮らしを守るため、防災重点農業用ため池に係る防災対策を推進**するほか、**田んぼダムに取り組**みます。

<地震・豪雨対策に取り組む防災重点農業用ため池数>

- (R1)	→	35箇所(R12)
--------	---	------------------

<田んぼダムを導入した面積>

26ha (R1)	→	630ha(R12)
-----------	---	-------------------

圏域計画

※各圏域における重点施策項目

圏域名	重点施策項目	圏域名	重点施策項目
広域栗原圏	① 中山間地域の基盤整備と集落機能の維持向上 ② 農業水利施設の機能保全や地域防災力の強化	広域登米圏	① 農業の成長産業化に向けた基盤整備 ② 農業水利施設のストックマネジメントの推進
広域仙南圏	① 儲ける農業の実現に向けた基盤整備 ② 多様な主体が活躍できる地域活動の推進	広域気仙沼・本吉圏	① 中山間地域における基盤整備の推進 ② 農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮 ③ 農業・農村における防災・減災対策の推進
広域仙台都市圏	① 管内の均衡ある生産基盤整備の推進 ② 農業水利施設の整備と防災・減災対策の推進		
広域大崎圏	① 競争力と個性のある農業の持続的な発展 ② 次代へ引き継ぐ生産基盤の保全 ③ 暮らしを守る安全な県土づくりの推進		